

電気便座

掲載製品

温水洗浄便座及び暖房便座です。暖房専用便座、温水洗浄装置のみのももの、他の給湯設備から温水の供給を受けるもの、専ら鉄道車輛に用いるためのものは対象外です。

区分

貯湯式	瞬間式	暖房のみ
-----	-----	------

一覧表の各種表示について

● 目標年度

トップランナー基準を達成すべき年度で、電気便座の目標年度は2012年度です。

● ラベル印刷

多段階評価制度、省エネラベリング制度、年間電気代を表示した統一省エネラベルを印刷できます。

● 多段階評価

省エネルギーラベリング制度の省エネ基準達成率を用いて、省エネ性能を5段階の(★)の数で表示するものです。対象機器はエアコン、テレビ、電気冷蔵庫、電気冷凍庫、電気便座、照明器具(蛍光灯器具のうち家庭用に限る)です。

電気便座多段階評価

多段階評価	省エネルギー基準達成率
★★★★★	188%以上
★★★★	159%以上188%未満
★★★	129%以上159%未満
★★	100%以上129%未満
★	100%未満

● 省エネルギーラベリング制度

省エネ法で定めた省エネ性能の向上を促すための目標基準(トップランナー基準)を達成しているかどうかをラベル(省エネルギーラベル)に表示するものです。

● 省エネ性マーク

トップランナー基準を達成した(省エネ基準達成率100%以上)製品についてはグリーンのマーク(●e)が表示され、未達成(省エネ基準達成率100%未満)の製品についてはオレンジ色のマーク(○e)が表示されます。

● 省エネ基準達成率(%)

その製品が属するトップランナー基準の区分の目標基準値を、どの程度達成しているかを%で示します。電気便座は、洗浄機能の有無、貯湯タンクの有無により分けられた区分ごとに、目標基準値が設定されています。

● エネルギー消費効率

機器によって表示語が異なり、各機器毎に定められています。電気便座は年間消費電力量(kWh/年)で表します。

● 年間消費電力量(kWh/年)

温水加熱部、便座部、制御及び操作部の機能毎に測定した消費電力量を合計して算出し、整数で表示しています。

$$\text{通常動作} \quad \text{節電} \quad \text{節電から復帰}$$
$$\text{Wh/h} \times \text{動作時間} + \text{Wh/h} \times \text{節電時間} + \text{Wh/h} \times \text{復帰時間}$$

時間当たりの消費電力量から365日に換算しています。

※通常動作に脱臭、部屋暖房、温風乾燥などの付加機能は含みません。

● 1年間の目安電気料金(円)

1 kWhあたり27円(税込)(公益社団法人 全国家庭電気製品公正取引協議会 新電力料金目安単価)として算出した目安電気料金を有効数字3桁で表示しています。各家庭の使用実態や電力会社等によって異なります。

下記の式において、節電機能を使用しない場合の年間消費電力量を用います。節電機能を使用しない場合の年間電気代はラベルでは括弧書きで表示しています。

$$\text{1年間の目安電気料金(円)} = \text{期間消費電力量(kWh)} \times \mathbf{27} \text{ (円/kWh)}$$

● 形式

「貯湯式」は洗浄のための温水を貯めておく貯湯タンクを有する構造のもの、「瞬間式」は貯湯タンクがなく、洗浄時に瞬間的に水を加熱する方式をいいます。「暖房のみ」は温水洗浄機能がなく、暖房便座のみのもものです。

● 最大定格消費電力(W)

便座や洗浄水を加熱したりするときの最大時の消費電力を表しています。

● 貯湯量(L)

貯湯タンク容量のうちの湯の量を表しています。

● 最大水量(L/min)

ノズルから出てくる1分あたりの最大水量です。

● 温水温度(℃)

ノズルから出てくる水の温度は、最高温度と最低温度の範囲で調節できますが、設定段階の数は機種によって異なります。

● 便座温度(℃)

便座の表面温度は、最高温度と最低温度の範囲で調節できますが、設定段階の数は機種によって異なります。

● フタ自動開閉

便座に近づくと自動でフタが開き、使用後に離れると再び自動で閉まる機能で、フタの開けっ放しによるヒーターの放熱を抑えてくれます。

● 温風乾燥

洗浄後に温風が出ておしりを乾かす機能です。

● 部屋暖房

トイレ室内を温風で暖める機能です。

● 脱臭

便座にすわると脱臭を開始し、立ち上がった後もしばらく作動し、自動停止する機能です。便座にすわると脱臭を開始し、立ち上がった後もしばらく作動し、自動停止する機能です。

● 節電方式

電力の使用を抑える機能です。節電の方法は、温水と便座の温度を自動的にコントロールするものや、タイマーによるモードの切替など機種によって異なります。

● 本サイト掲載日

製品の登録日を掲載し、機種名(型番)の前に「New」を付けて、掲載日より1ヶ月表示します。並べ替え機能で新着情報を上から順に並べ替えることができます。

● 更新日

製品情報に修正が入った際の更新日を掲載し、機種名(型番)の前に「Update」を付けて、更新日より1ヶ月表示します。ただし、本サイト掲載日から1ヶ月以内の更新は、「New」が優先されます。並べ替え機能で更新日順に並べ替えることができます。

● JANコード

国際的な共通商品コードです。13桁の数字で表示し、その商品がどこの国の、どこの企業の、どの商品であるかを識別できます。

上手な選び方

電気便座は、温水洗浄便座(貯湯式・瞬間式)と暖房便座に分かれます。それぞれの特徴を知って商品を選びましょう。

年間消費電力量

電気便座を家庭での平均的な方法で使用したときの1年間に消費する電力量です。年間消費電力量が小さいほど、目安となる年間電気料金が安くなります。

省エネ基準達成率

種類(温水のタンクの有無等)が同じならば、省エネ基準達成率が高いほど省エネ性に優れ、年間電気料金も安くなります。

電気便座は、洗浄機能の有無、貯湯タンクの有無により分けられた区分毎に、目標基準値が設定されています。

種類

● 温水洗浄便座(貯湯式・瞬間式)

貯湯式:

タンクの中に貯めた水をヒーターにより温める方式で、一度にたっぷりの温水で洗浄することができますが、温水を保温するための電力が必要となります。

瞬間式:

タンクを持たずに、使用に応じて水を温める方式です。温水として保温する必要がないため、年間の消費電力量は貯湯式より小さくなりますが、洗浄時の加温のための消費電力が大きくなるため、独立の電源が必要となる場合があります。

● 暖房便座

温水洗浄機能がない、暖房専用の便座。

上手な使い方

電気便座は、非使用時の節電と温度調節により電力を抑えることが必要です。

おすすめ

冬はフタを閉めて放熱を防ぐと省エネに効果的です。

貯湯式でフタを閉めた場合と開けっ放しの場合を比較すると年間で電気およそ34.90kWh*、電気代に換算すると約770円の節約になります。

*一般社団法人省エネルギーセンターの実測値を使用しています。



お出かけ前や就寝前はタイマー等の節電モードを上手に使うことで、省エネ効果が得られます。長時間使わない時はOFFにしましょう。夏は便座の暖房を切りましょう。暖房温度、水温は高めに設定せず、季節に合わせて調節しましょう。